



CFTC建玉報告:円/ドル、ユーロ/ドル(3月27日時点)

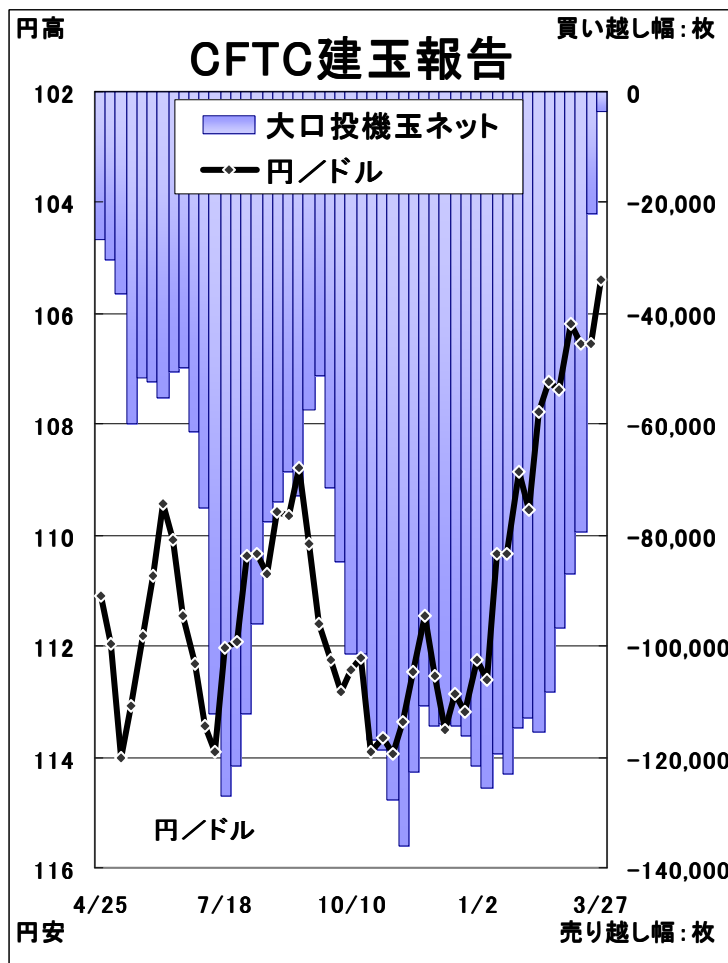
米商品先物取引委員会(CFTC)が3月30日に発表した建玉報告によると、27日時点のシカゴ・マーカンタイル取引所(CME)IMM通貨先物円(対ドル)相場の大口投機筋(非商業部門)の売越幅は、3668枚となり、前週と比べ1万8331枚縮小。投機筋は買いポジションを増やし、売りポジションを減らした。

期間中の円(対ドル)は上伸。21日に公表された米連邦公開市場委員会(FOMC)声明では、政策金利の0.25%引き上げを決定したが、年内の利上げ想定回数に関してはこれまでの3回が維持され、米利上げ加速期待が後退したことで、米FOMC前に買われていた米ドルは売り戻された。また、トランプ米大統領が22日、中国に対する貿易制裁を決定。安全保障を理由にした鉄鋼・アルミニウムの輸入制限措置も23日に発動。これに対し、中国商務省は23日、米国産豚肉などに高関税を適用する対米報復措置を発表し、米中が「貿易戦争」に突入することへの警戒感が広がる中、リスク回避の円買いドル売りが進行した。

期間中のユーロ(対ドル)は上伸。大口投機玉の買越幅は14万1064枚となり、前週比8325枚拡大。

欧州中央銀行(ECB)のドラギ総裁が14日に、大規模金融緩和の縮小を慎重に進める姿勢を示したことが引き続き材料視され上値の重い展開となっていたが、21日の米FOMCの結果発表とパウエル議長の記者会見を受け、米利上げ加速期待が後退したことや、米中の「貿易戦争」への警戒感などを背景に、ユーロ買いドル売りが進行。27日には1ユーロ=1.2476ドルの高値をつけ、2月16日以来、約1ヵ月半ぶりの高値を付ける場面もあった。

日付	円/ドル		ユーロ/ドル	
	終値	枚数	終値	枚数
11/28	111.45	-110,640	1.1842	89,681
12/05	112.55	-114,267	1.1826	93,106
12/12	113.51	-114,123	1.1741	113,889
12/19	112.86	-114,373	1.1842	86,224
12/26	113.17	-116,086	1.1863	92,148
01/02	112.25	-121,766	1.2058	127,868
01/09	112.62	-125,536	1.1933	144,691
01/16	110.34	-119,350	1.2266	139,490
01/23	110.32	-122,870	1.2294	144,717
01/30	108.84	-114,696	1.2397	148,742
02/06	109.54	-112,876	1.2373	140,823
02/13	107.78	-115,509	1.2356	127,289
02/20	107.24	-108,338	1.2336	126,126
02/27	107.36	-96,651	1.2231	137,977
03/06	106.20	-86,845	1.2405	132,972
03/13	106.54	-79,539	1.2391	146,380
03/20	106.53	-21,999	1.2240	132,739
03/27	105.38	-3,668	1.2401	141,064
前週比	-1.15	+18,331	+0.0161	+8,325



第一商品株式会社 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町9番1号 神泉プレイスビル フューチャーズ・24

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので投資勧誘を意図するものではありません。投資の最終的な決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い致します。レポートに記載の内容等は作成時点のものであり、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく修正、変更されることがあります。商品先物取引業者 日本商品先物取引協会会員 当社お客様相談窓口(東京・本社) 0120-770-266、日本商品先物取引協会相談センター東京本部 03-3664-6243。